

研究タイトル:

# 内閣制度強化をめぐる憲法解釈の現状と課題



氏名:	今田浩之 / IMADA Hiroyuki	E-mail:	imada@anan-nct.ac.jp
職名:	准教授	学位:	修士(法学)
所属学会・協会:	関西憲法判例研究会		
キーワード:	憲法、統治機構、議院内閣制、国会、内閣		
技術相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民主権原理と統治機構の憲法解釈技術</li> <li>・内閣の機能強化をめぐる憲法解釈技術</li> </ul>		

研究内容:

日本国憲法の統治機構は、その基本原理である「国民主権」原理を踏まえて構想されている。

研究の全体構想としては、そもそも国民主権とはどのような原理であるのか。国民主権原理の制度化として国会はどのように組織・運営されるべきか。国民主権原理の制度化として内閣はどのように組織・運営されるべきか。そして、国民主権原理の制度化として国会と内閣の相互関係は如何にあるべきか。憲法学の研究として、政治部門のこうした諸課題に関する憲法解釈の検討が求められよう。

そうした中で、本研究テーマ「内閣制度強化をめぐる憲法解釈の現状と課題」は、国民主権原理の制度化として内閣はどのように組織・運営されるべきか、という問題に関わって、近時の内閣の機能強化、内閣総理大臣の地位強化をめぐる憲法解釈の研究を具体的な目的としている。

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	